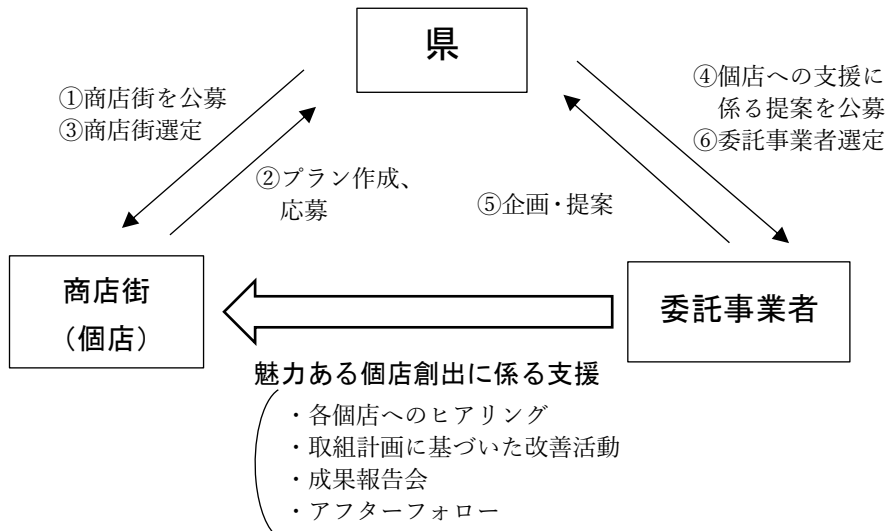


2023年度 商店街魅力ある個店創出支援事業実績

<u>支援商店街</u>	かりやセントラル商店街振興組合（刈谷市）
<u>支援対象店舗</u>	仏壇仏具店、呉服店、文具店、印刷会社
<u>受託事業者</u>	株式会社 PATCHWORK
<u>支援期間</u>	2023年8月～2024年2月
	<ul style="list-style-type: none">・各個店へのヒアリング、取組計画の作成（8～9月） アドバイザーが店舗を訪問し、現状の把握、課題の洗い出し、希望する取組内容を聞き取り、集客力向上に向けた取組計画を店主とともに作成。・取組計画に基づき、アドバイザーが集客力向上に向けた取組を支援（10～1月） 各店舗を定期的に訪問し、それぞれの個店の課題・方向性に応じた提案を行い、改善活動を実施。・成果報告会（1月） 支援対象となった店舗へのアドバイス内容等を商店街内の他の個店や、他の商店街においても共有し、魅力ある店舗づくりに活かしていただくことを目的として開催。・改善後のアフターフォロー（2月） トータルの訪問回数は各店舗 10～15 回程度。
<u>主な取組事例</u>	○店舗改善（店舗改装、オペレーションの改善等） ○新商品の取扱いに係る提案
<u>事業イメージ</u>	



<支援事例>

①仏壇仏具店

- ・在庫や販促物が通路に山積し、店内の回遊性が低い
- 回遊スペースを拡大するように回遊動線を設計し、ゾーニング全体を見直し
- ・商品のアイテムが多く、売場の密度が高すぎる
- 購入頻度の高い商品を配置するとともに、アイテムを整理
- ・店舗入口近くにレジがあり、初来店には敷居が高い
- レジを店舗奥へ移動し、入口にスペースを確保
- ・窓から店内が見えず、店に入りにくい
- 窓から見える場所に開放感を持たせ、さらに窓へカッティングシートを装飾しイメージアップを狙う

②呉服店

- ・定期的に催事企画を行っているが、似たような商材・企画になってしまう
- 个性的かつ店舗の品格に合った商材の提案（奄美大島フェア、絵画）
- ・高齢化等により固定顧客の減少が進んでいるが、新規顧客の獲得ができていない
- 催事向けチラシのデザイン提案

③文具店

- ・店舗の規模に対して商品アイテムの数が多く、店内の回遊性や不良在庫に悩んでいる
- ゆったりと店内を回遊でき、滞在時間増を狙った店内レイアウトへの変更提案
- ・店内に西日が差し込むため、午後からは店舗入口にロールスクリーンを下ろした状態での営業となってしまう
- 窓に装飾を施し、ロールスクリーンを下ろしたときにイラストが浮かび上がるようなデザインの提案

④印刷会社

- ・ペーパーレス化に伴い、チラシや伝票などの需要が減少
- ・印刷業以外の自社活動についてのPRの仕方
- 業種柄、来客を受け入れる店舗の造りにはなっておらず、倉庫と作業スペースになっていたが、希少性の高い活版印刷機や版画等の古き価値を前面に出したショールームへの転換を提案

支援を受けた個店の感想

- ・店舗レイアウトを変えて店内の回遊性が向上、お客様が商品を見やすくなった。
- ・外部からの目によって取扱商品の取捨選択ができ、店舗内の整理整頓が捗った。
- ・店内がリフレッシュされて経営者はじめ従業員の意欲向上につながった。
- ・店舗を変化させるためのきっかけとなった。
- ・まずは行動するということの重要性を再認識できた。

成果報告会参加者からの感想

- ・店内のレイアウトが変わるとお店としてのイメージも改善されると感じた。
- ・お金をかけずに、魅力を作る点がとても良いなと感じた。
- ・よくある作業スペースから事業の魅力を感じられる空間となり、事業に興味を持っていただけの工夫がなされたと思う。
- ・他の店舗へもこの動きが広まっていくと良いと思う。
- ・魅力ある個店創出支援事業がどのような取組か分かり、今後商店街や商工会議所に機会があったら紹介してみようと思った。